

総務常任委員会

高橋 守(委員長) 北口和男(副委員長) 工藤直道
高橋光幸 大和田順一 高橋喜代春 大森力男

- 期日・研修先 8月28日(火)=北上市、29日(水)=栃木県佐野市
■内容 北上市交流センター、佐野市の行政評価についての先進事例調査



北上市役所(8月28日)

交流センター拠点に 「協働のまちづくり」

◎北上市

18年度から市内16公民館を地区住民の自主的な学びや地域づくりの拠点となる「交流センター」に移行し、地域の自治組織が指定管理を行っている。交流センターを拠点に、「まちづくり・地域づくりの行政パートナー」として、市と地域との協働が展開されている。

◎栃木県佐野市

行政経営を効率的かつ効果的に推進するため、行政評価を総合計画の策定・進捗管理や予算の編成・執行管理、人事評価との連動、組織の見直しなどと連携するように構築を進めている。全ての施策・基本事業、事務事業(1600事業)の評価結果はホームページに公表している。

教育民生常任委員会

田中榮司夫(委員長) 渡辺義光(副委員長) 米田定男
三浦 侃 関善次郎 小笠原壽男 伊藤一彦 工藤 剛

- 期日・研修先 8月8日(水)=秋田県由利本荘市、9日(木)=山形県南陽市
■内容 子育て支援(由利本荘市)、学校教育(南陽市)についての先進事例調査



南陽市立赤湯小学校(8月9日)

子ども条例で子育て 人づくり教育日本一

◎秋田県由利本荘市

子どもたちの権利を明確にし、5者の責任・役割を定めた「由利本荘市子ども条例」を23年3月に制定した。条例は、子どもを取り巻く環境を地域社会全体で整備、支援して行こうとする内容で、「安心して子どもを産み、健やかに育つ、子育ての絆あるまちづくり」を目指している。

◎山形県南陽市

幼保小中学校が、理想の子ども像を共有し、一貫教育を実施している。また、市民一人一人の力で、「学び、創り、伝え、育む」とする南陽の教育は、生きがい、働きがい、学びがいを感じながら、市民による主体的な人づくりを柱にした「教育日本一のまちづくり」を目指している。

産業建設常任委員会

古川津好(委員長) 立花安文(副委員長) 松浦博幸
高橋悦郎 田村 孝 小野寺昭一 遠藤公雄 渡邊 正

- 期日・研修先 8月21日(火)=埼玉県志木市、22日(水)=神奈川県川崎市
■内容 志木市橋りょう長寿命化修繕計画、川崎大規模太陽光発電所(メガソーラー)事業についての先進事例調査



志木市役所(8月21日)

橋の長寿命化計画で 経費を約3億円削減

◎埼玉県志木市

面積が約9平方キロメートルである志木市は、環境整備に目が行き届いており、橋の安心・安全な利用を図るために、早くから橋りょうの長寿命化計画を策定し、計画的な修繕を実施している。長寿命化計画により、新設や修繕に係る経費を3億1000万円縮減できる試算が出ている。

◎神奈川県川崎市

東日本大震災後、注目されている再生可能エネルギー事業の誘致について調査した。埋め立て地の有効利用を図りたい川崎市とエネルギー開発を進めたい東京電力との共同事業として、昨年度から大規模太陽光発電所を稼働し、年間発電量は予想を上回る945キロワット時である。

議会の動き（7月24日から10月31日まで）

7月

- ▶25日 雫石東八幡平線道路促進協議会総会ならびに研修会
- ▶27日 第50回知事を囲む懇談会、議会改革調査特別委員会第1・2・3小委員会

8月

- ▶3日 議員全員協議会、総務常任委員会、議会改革調査特別委員会第3小委員会
- ▶7日 平成24年度市町村要望
- ▶8日 教育民生常任委員会所管事務調査（～9日）
- ▶21日 産業建設常任委員会所管事務調査（～22日）
- ▶23日 議会運営委員会、市議会第4回臨時会、議会改革調査特別委員会第2小委員会、議会改革に関する研修会、議員全員協議会
- ▶28日 総務常任委員会所管事務調査（～29日）

9月

- ▶4日 市政調査会理事会
- ▶5日 議会改革調査特別委員会小委員長会議、産業建設常任委員会所管事務調査
- ▶7日 議会運営委員会、議会改革調査特別委員会第1・2小委員会
- ▶14日 議会運営委員会、市議会第3回（9月）定例会（～28日）、議会改革調査特別委員会、議会広報特別委員会
- ▶18日 議会改革調査特別委員会小委員長会議

- ▶20日 議会改革調査特別委員会、教育民生常任委員会
- ▶21日 決算特別委員会（～26日）、産業建設常任委員会
- ▶24日 産業建設常任委員会
- ▶25日 議会改革調査特別委員会小委員長会議
- ▶26日 議会改革調査特別委員会第2小委員会
- ▶28日 議会運営委員会

10月

- ▶4日 和歌山県紀美野町議会行政視察来庁
- ▶5日 雫石東八幡平線道路促進協議会研修会
- ▶8日 沖縄県名護市議会会派行政視察来市
- ▶9日 議会改革調査特別委員会第3小委員会、宮古市・八幡平市議会議員合同研修会（～10日）
- ▶10日 埼玉県坂戸市議会会派など行政視察来庁
- ▶11日 第74回全国都市問題会議、議会広報特別委員会、愛知県知多市・大府市・東浦町議会会派行政視察来市
- ▶17日 軽米町産業建設常任委員会行政視察来市、八起会会派研修（～20日）、議会改革調査特別委員会小委員長会議
- ▶18日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会に係る関係市町村議会議員研修会
- ▶21日 六市議会議員協議会スポーツ交流大会
- ▶23日 神奈川県寒川町議会会派行政視察来市
- ▶29日 議会広報特別委員会、議会運営委員会所管事務調査（～30日）
- ▶30日 東北市議会議長会理事会

12月定例会の日程（予定）

期日	内容
12月6日(木)	議案上程 ほか
12月7日(金)	一般質問
12月8日(土)	休 会
12月9日(日)	休 会
12月10日(月)	一般質問
12月11日(火)	一般質問
12月12日(水)	議案審議
12月13日(木)	休 会
12月14日(金)	議案審議、請願・発議案審議

※詳しい日程は決まり次第、市議会ホームページに掲載します。

傍聴など詳しくは、議会事務局（☎76-2111、内線1321～1323）まで問い合わせください。

市議会ホームページにアクセスを

市議会のホームページには、はちまんたい議会だよりのほか、議会日程（会期日程、一般質問の要旨一覧）や議決結果、会議録（キーワードなどで内容を検索できます）などを掲載しています。ご活用ください。

クイズ

問 ○の中には、どんな数字(文字)が入るでしょう？

23年度決算一般会計の自主財源比率は〇〇.〇％

応募方法

はがき、FAX、Eメールに「答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、議会だよりを読んだ感想、市議会へのご意見・ご要望など」を必ず記入して応募ください。正解者の中から抽選で5人に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします。
※お寄せいただいた個人情報は、本目的以外には使用しません。

あて先

〒028-7192(住所不要) 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX：0195-76-2980
Eメール：gikai@city.hachimantai.lg.jp

応募期限

平成24年12月3日(月)

前回(No.27)の正解

20(億円)
応募者 13人 正解者 12人
当選者 佐々木瞳さん(大更)、工藤久美子さん(田頭)、久世教枝さん(柏台)、松尾コノエさん(松尾)、日向裕一さん(大更)、小野寺幸子さん(野駄)、阿部綾乃さん(石名坂下タ)

市政クラブ

工藤直道(代表)
大和田順一 田中榮司夫
工藤 剛 立花安文

市政クラブは、7月17日から19日まで、三重県熊野市で「防災に関する取り組み」、愛知県豊明市で「市民協働の取り組み」を視察しました。

熊野市では、台風による大災害の経験から市役所の非常発電の屋上設置や安否確認、被害状況の把握のため市内38カ所にアマチュア無線機を設置しているほか、防災ラジオを各戸に無償配布し、災害時の情報提供に努めていました。

豊明市では、地域による市民活動を支援するため、市の公用車（2トトラックなど）やテント、机、いすなど32品目の貸出しをしているほか、自由に使える会議室に印刷機などを設置していました。



熊野市役所（7月18日）

防災ラジオを各戸に無償配布

新生会

田村 孝(代表)
瀬川健則 松浦博幸
渡辺義光 大森力男

新生会と北口和男議員（公明党）は、7月3日から6日まで、北海道稚内市で「再生可能エネルギー」、利尻富士町で「自然環境を生かした観光振興」、滝川市で「議会改革」を合同で視察しました。

稚内市では、太陽光と風力を利用した再生可能エネルギーを導入し、市内の消費電力の9割を生み出していました。

利尻富士町では、自然環境保護を基本とし、漁業体験を取り入れた観光振興に取り組んでいました。

滝川市議会では、市民の皆さんに分かりやすく、身近な市議会を目指し、17年から議員定数や報酬の削減など、改革を進めているということでした。



稚内市役所（7月3日）

太陽と風を味方にまちづくり

無会派

米田定男(日本共産党)
高橋悦郎(日本共産党)

米田定男・高橋悦郎の日本共産党議員2人は7月20日、秋田県八郎潟町で「学校給食の無料化」を視察しました。

八郎潟町では、町内全ての子育て家庭に平等な支援ができることから、ことし4月から小中学生の学校給食の無料化を実施することになりました。これは、無料化になる前に給食費を滞納していた人も含めて給食費を助成するもので、町外の学校に通っている町内に住所があれば対象としていることでした。

この他にも、八郎潟町では、小学校卒業まで医療費無料化や保育料を国の基準の半額にするなど、子育て支援に力を入れています。



八郎潟町役場（7月20日）

学校給食無料化で子育て支援

緑松会 自由クラブ

高橋光幸(代表)
伊藤一彦 古川津好
関善次郎(代表)
遠藤公雄 高橋喜代春

緑松会と自由クラブ、渡邊正議員（無会派）は7月19日から22日まで、北海道滝川市で「そらぶちキッズキャンプの誘致」、上川町で「廃校した小学校校舎の跡地利用」を合同で視察しました。

滝川市の「そらぶちキッズキャンプ」は、難病とたたかう子どもたちに自然体験プログラムを提供する施設で、誘致に当たり、土地を市が提供し、施設の建設費用などは寄付金で賄うということでした。

上川町では、国立公園内にある廃校した校舎を、大雪山写真の第一人者・市根井孝悦氏の作品を展示した「層雲峡・大雪山写真ミュージアム」として再利用し、地域の活性化に結び付けていました。



滝川市役所（7月20日）

廃校の校舎を観光施設に活用